

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 6 年 3 月 27 日(2024.3.27)

【国際公開番号】WO2021/184062

【公表番号】特表 2023-518376(P2023-518376A)

【公表日】令和 5 年 5 月 1 日(2023.5.1)

【年通号数】公開公報(特許)2023-081

【出願番号】特願 2022-555836(P2022-555836)

【国際特許分類】

10

A 6 1 K 38/08(2019.01)

A 6 1 K 38/12(2006.01)

A 6 1 P 11/00(2006.01)

A 6 1 P 31/00(2006.01)

A 6 1 P 31/12(2006.01)

A 6 1 P 31/16(2006.01)

A 6 1 P 31/14(2006.01)

A 6 1 P 11/06(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 K 38/27(2006.01)

20

A 6 1 K 38/10(2006.01)

C 0 7 K 7/06(2006.01)

C 0 7 K 7/08(2006.01)

C 0 7 K 14/61(2006.01)

C 1 2 N 15/18(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 38/08

A 6 1 K 38/12

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 31/00

30

A 6 1 P 31/00 1 7 1

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 31/12 1 7 1

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 38/27

A 6 1 K 38/10

C 0 7 K 7/06 Z N A

40

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 14/61

C 1 2 N 15/18

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 3 月 15 日(2024.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象における気道感染症の治療において使用するための、式 (I) のペプチドまたはその薬学上許容可能な塩：

R 1 - C R S V E G S C G - R 2 (I) (配列番号 1)

[式中、

R 1 は Y L R I V Q、L R I V Q、R I V Q、I V Q、V Q、および Q からなる群から選択されるか、または R 1 は存在せず；かつ

R 2 は F (フェニルアラニン) であるか、または R 2 は存在しない]

を含んでなる医薬組成物。

10

【請求項 2】

前記ペプチドが Y L R I V Q C R S V E G S C G F (配列番号 2)、L R I V Q C R S V E G S C G F (配列番号 3)、C R S V E G S C G (配列番号 4) および C R S V E G S C G F (配列番号 5) からなる群から選択される、請求項 1 に記載の使用のための組成物。

【請求項 3】

前記ペプチドが Y L R I V Q C R S V E G S C G F (配列番号 2) である、請求項 2 に記載の使用のための組成物。

【請求項 4】

前記ペプチドが C R S V E G S C G (配列番号 4) である、請求項 2 に記載の使用のための組成物。

20

【請求項 5】

前記ペプチドが C R S V E G S C G F (配列番号 5) である、請求項 2 に記載の使用のための組成物。

【請求項 6】

前記対象がヒトである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 7】

対象における気道感染症の治療において使用するための、式 (II) のペプチドまたはその薬学上許容可能な塩：

30

R 1 - C R R F V E S S C - R 2 (II) (配列番号 6)

[式中、

R 1 は Y L R V M K、L R V M K、R V M K、V M K、M K、および K からなる群から選択されるか、または R 1 は存在せず；かつ

R 2 は A (アラニン) および A F (アラニン - フェニルアラニン) からなる群から選択されるか、または R 2 は存在しない]

を含んでなる医薬組成物。

【請求項 8】

前記ペプチドが Y L R V M K C R R F V E S S C A F (配列番号 7)、L R V M K C R R F V E S S C A F (配列番号 8)、C R R F V E S S C A F (配列番号 9) および C R R F V E S S C A (配列番号 10) からなる群から選択される、請求項 7 に記載の使用のための組成物。

40

【請求項 9】

前記ペプチドが Y L R V M K C R R F V E S S C A F (配列番号 7) である、請求項 8 に記載の使用のための組成物。

【請求項 10】

前記ペプチドが C R R F V E S S C A F (配列番号 9) である、請求項 8 に記載の使用のための組成物。

【請求項 11】

前記ペプチドが C R R F V E S S C A (配列番号 10) である、請求項 8 に記載の使用

50

のための組成物。

【請求項 1 2】

前記対象がネコ、イヌおよびウマからなる群から選択される、請求項 7 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 1 3】

前記気道感染症がウイルス感染症である、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 4】

前記ウイルスがピコルナウイルス、コロナウイルス、インフルエンザウイルス、パライ
ンフルエンザウイルス、呼吸器合胞体ウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルス、ま
たはメタニューモウイルスからなる群から選択される、請求項 1 3 に記載の組成物。

10

【請求項 1 5】

前記ウイルスがインフルエンザウイルスまたはコロナウイルスである、請求項 1 4 に記
載の組成物。

【請求項 1 6】

前記対象が慢性閉塞性肺疾患、喘息、嚢胞性線維症および肺癌からなる群から選択され
るさらなる呼吸器系病態を有する、請求項 1 ~ 1 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 7】

前記対象への経口投与のために処方される、請求項 1 ~ 1 6 のいずれか一項に記載の組
成物。

20

30

40

50